

【学習目標】

- 総合的な学習として他の教科とのつながりをとらえ、広い視野を持って課題に取り組むことができる。
- 実生活の中から問いを見つけ出し、進んで情報を集めたり整理したりすることで解決し、それらを表現することができる。
- 自分自身の姿を見つめ、なかまより良く関わろうとすることができる。



【学習を進めるにあたって】

使用教材	
副教材	「郷土の偉人を知る 松浦武四郎」(タブレット) 防災ノート

持ち物		
総合ファイル	防災ノート	筆箱 下敷き タブレット

【学習の約束】

- 授業では、気づいたこと等をワークシートに工夫して書きましょう。
- ワークシートなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前 期	後 期
<p>・「産業～わたしたちの暮らし」 「米作り体験」</p> <p>地域との繋がりを深める米作りの体験を通して、米の重要性と地域の人々への感謝の気持ちを学び、理解を深める。地域の農家の方々がどのような専門知識を持って米を栽培しているかを学び、その過程で米への敬意と感謝の気持ちを考えさせる。その価値を理解しようと努め、農業への理解を深めることを目指す。</p> <p>社会科「わたしたちの食生活を支える食料生産」と関連をさせ、社会科で学習したことをもとに深めたこと、問いを立て、グループで調べ学習に取り組む。</p>	<p>・「産業～わたしたちの暮らし」 前期に調べたことをもとに、地域のJAや農家の人と出会い、情報を集め、整理・分析してまとめ、発表する。</p> <p>・「防災について考える」 大地震、台風、風水害の災害が起こったときに予想される危険や身の守り方を考え、身を守る行動を意識する。</p> <p>・「6年生を送る会」 これまでお世話になった6年生への感謝の気持ちを表す会の内容を考えたり、心を込めてプレゼントを作ったりすることを通して、次の学校のリーダーとしての自覚を持つことへとつなげる。</p> <p>・「郷土の偉人 松浦武四郎」 松浦武四郎が蝦夷地のことを調べようと決意した経緯や、アイヌの人々とのようにかかわり、どんな</p>

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点	評価の場面・方法
<p>技能 ・ 知識 ・ 思考 ・ 表現 ・ 判断</p> <p>単元全体を通して、よい点や学び、成長の様子を記述で表します。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>発言・発表 授業の様子 グループ活動の様子 制作物 ワークシート 振り返り</p>